



今、世界的なスポーツの祭典である、サッカーワールドカップが開催されています。この広報がお手元に届くころには大きな感動と新たな歴史が生まれていると思います。スポーツを通じて世界が一つになる瞬間、同じ時を共有したいものです。

さて、国内、特に教育に関する項目に目を向けてみると、教育基本法の改正について論議がすすんでいました。政府・与党は、今国会での成立は先送りされましたが、9月の自民党総裁選直後の臨時国会で、早期成立を目指す方針を固めています。こうした法改正が実現すれば、学習指導要領の全面改定など理念を具体化する作業が進んでいくことが予想されます。また、文部科学省は、都道府県や市町村の教育委員会のあり方を抜本的に見直し、各自治体が地域の実情に応じて教委の委員数や担当事務を弾力的に決められるようにする方針を固めました。規制改革・民間開放推進会議が設置義務から「選択制」の導入を求めていることへの対案として示されたものです。学校の位置づけが大きく変容する中で、私たち学校事務職員も従来の学校事務観から脱却する必要があります。

学校事務の可能性・社会の要請に応えられる学校事務、近事研では調査研究部が中心となり研究を進めています。研究大会や研修会などの機会を通じ会員への調査報告・研究報告など行っています。また、9月からは新しい体制での近事研がスタートします。

会員の皆様のますますのご理解とご協力をお願いします。 会長代理 松田 幸夫

## 調査研究部活動報告



調査研究部長 橘 日出晴

本年2月に実施した、「学校財務」「文書・情報」「職務標準」についてのアンケート調査では、単位研究会の皆様にご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

調査研究部は、「学校事務の将来展望をさぐる - 学校事務職員の職務と可能性 - 」をテーマに研究活動を行ってきました。昨年の第37回全国公立小中学校事務研究大会(第8回近畿地区公立小中学校事務研究大会)では、学校事務職員が、財務のスペシャリストとしてだけでなく、学校経営のスタッフとして管理運営部門をつかさどるとともに、教育指導部門と管理運営部門をマネジメントする「ゼネラリスト(総合職)」の役割を果たすこと、また、学校運営に必要な過去のデータや最新の情報を提供し、活動の計画や評価を集約するとともに、事業起案や情報発信における「情報の管理者」の役割を果たすことについて提案しました。

さて、平成20年の第40回全国公立小中学校事務研究大会では、近畿地区から、近事研調査研究部が分科会を担当することが、代表者会において決定されています。これまで積み重ねてきた研究をさらに深化充実させ、全国の事務職員に提案できるよう、現在アンケートの集計作業を行うとともに、これまでの活動の総括を行っているところです。

# 各府県単位研究会の事業報告



## 和歌山県小中学校事務研究協議会

わかやまです

和歌山県では、市町村教育委員会によってとりくみかたに差はあるものの、殆どの地域で「共同実施」の試行が始まっています。そんな中、去る5月25日（木）～26日（金）に風光明媚で温泉が有名な白浜町にあるホテルラフォーレ南紀白浜において、「平成18年度和歌山県小中学校事務研究大会」を開催しました。初日は、県教育委員会による講義では「教育改革と学校事務」を、講演では東京大学大学院教育研究科助教授の勝野正章氏より「これからの学校事務 進む教育改革と学校事務職員の課題」をテーマにお話いただきました。また、翌日は6つの分科会で事務実践や研修のありかたについて活発に協議が行われました。

「望ましい新時代の学校事務を求めて」 学校や地域に根ざした事務実践を求めて を研究テーマに、和歌山県小中学校事務研究協議会は今年度も元気いっぱい和歌山流でがんばります。



## 奈良県公立小中学校事務研究会

奈良県公立小中学校事務研究会では、研究主題を「新しい時代における学校事務の確立」として研究を進めています。活動の柱を「支部活動の充実と交流」「専門部活動の充実」とし、支部活動の交流、情報の共有化を図ると共に、専門部では学校教育目標達成のための学校事務のあり方を探求しながら、真に果たすべき役割を明確にするために活動を展開しています。研究部では「事務部経営案」の作成をすることで学校事務の機能が明確になり、指導部門と事務部門の連携がより深められると考えモデル案作成とリーフレット完成をめざします。また広報部では、会員相互の交流を図るための広報紙「もにゅめんたる」の発行と実務手引き書である「学校事務の手引き」の編纂を行います。この他、研修会、新規採用事務職員フォローアップ事業、標準的職務内容定着化会議を随時開催しています。

最後に今年度の研究大会は、平成18年12月1日に県立教育研究所で開催します。当日は、全体会・分科会（宇陀支部・吉野郡東支部）を予定しています。学校の主役である児童生徒が確かな学力をつけ安全に過ごすことができるように、また地域に信頼される学校づくりに参画するために、学校事務職員としてあり方を探っていきたいと考えます。



## 神戸市立小中学校事務職員研究会

神戸市立小中学校事務職員研究会は「神戸市立小学校事務研究会」と「神戸市立中学校事務職員会」から成り立っており、研究活動等は個別に行っています。

神戸市立小学校事務研究会は、181名の会員で、9行政区ごとに毎月開催する区会、各区から選出された代表幹事が庶務・広報・研修の3係を分担する事務局会、役員会、研究委員会、18年度より新設した学校事務OA検討委員会を組織し、活動を進めています。2月26日（月）には、神戸市総合教育センターにて研究大会を開催し、事務職員制度及び事務改善に関する研究発表を行い、討議を深めます。

神戸市立中学校事務職員会は、本会の目的である「学校事務の円滑なる運営を期し、神戸市中学校教育の推進に寄与する」ために次の事業を行います。

研究部 冊子作成（財務事務、校務分掌から予算へのアプローチ）

広報部 神戸市立中学校事務職員会公式ホームページオープン 第1ブロック

冊子作成（電算etc虎の巻）他機関紙 明星、事務だより発行





## 大阪府公立学校事務研究会

本年度は、これまでの本会の研究成果のさらなる深化をめざし、特に、あり得るべき「共同実施組織」の大阪府内における具現化を最大の目標に研究を進めていきます。また、学校事務職員の職務に応じた学校マネジメント能力を高める方策の研究も進めていきます。

さて、第15回府事研研究大会を以下のように開催します。多数の参加をお待ちしております。

- 1 開催日 平成18年11月2日(木)
- 2 会場 エルおおさか(大阪府府立労働センター)
- 3 内容 ・行政説明 文部科学省  
・研究部中間研究報告  
・分科会

第1分科会 「次代の担い手とともに - 切り拓こうこれからの学校事務 - 」  
本会研修部研究発表

第2分科会 「これからの学校事務職員につたえたいこと」  
豊能地区発表実行委員会



## 京都市立学校事務研究会

18年度定時総会(6月9日)を終えて、研究会活動がスタートしました。

楽しみながら  
の研究会  
活動を!

学校経営に主体的に参画する事務職員をめざす研究

職務内容の標準化と「職の指定」をめざす研究

学校組織のシステム化、学校事務の効率化を図るなど、情報ネットワークの構築

学校事務の実践に向けた取組の充実 の研究方針のもと、

『学校経営への参画』『保護者・地域社会への説明責任』『自己研鑽と自己評価』について「提案型の学校事務」を基盤に研究を進める。学校教育を推進していくために、学校事務職員としての力量を高める研修の充実を図る。急速なシステム化・情報化の進展の中、事務職員一人一人の情報管理能力や、情報活用能力の向上が必要となってくるため、コンピュータを活用して事務処理の効率化・合理化を図り、処理事務から判断事務へとシフトしていく学校事務を目指して取組む。会員のニーズに即した研修会、コンピュータ操作研修会等を開催し、各学校で実践に役立つ資料作成及び情報を提供していくなど、支部会活動を基盤として、それぞれの活動を楽しみながらの研究会活動を目指します。



## 滋賀県公立小中学校学校事務研究協議会



平成18年度は、「創造しよう!教育を活かす学校事務を」を活動基本方針に掲げ、経営スタッフとしての力量を高めるために、「学校事務に関連する評価についての調査研究」、「学校組織マネジメント研修の推進」、「広報活動等による学校事務に関する情報の共有化の推進」を活動の重点として進めていきます。主な活動としては、第35回滋賀県公立小中学校学校事務研究大会を平成18年12月7日(金)に滋賀県立男女共同参画センター(近江八幡市)で開催します。専門部の活動については、研究部では学校事務の評価の在り方についての研究、研修部は今年度より試行が始まった人事評価制度ならびに学校組織マネジメントに関する講座の開催、広報部は「さざ波」の発行、本会ホームページの更新、事務局では学校事務ハンドブック、学校事務マニュアルの編集等を予定しています。また、県外の学校事務研究団体等との交流や研究大会に参加する「管外視察研修」や県内地区研究会相互の情報交換等を推進するための「学校事務研究交流会助成事業」の実施を計画しています。

# 近事研研修会(サマーフォーラム)の開催について

- 1 テーマ 「創造しよう！ 学校事務の新世紀を」
- 2 目的 21世紀における学校事務の可能性を展望し、社会の要請に応えられる学校事務を創造するとともに学校事務職員の資質の向上を図り、教育の発展に寄与する
- 3 主催 近畿公立小中学校事務職員研究会
- 4 期日 平成18年8月25日(金)
- 5 会場 京都タワーホテル 八閣の間  
〒600-8216 京都市下京区烏丸七条下ル TEL 075-361-3211
- 6 日程

受付	開会行事	全体研修会	休憩	全体研修会	
13:00	13:30	13:45	14:45	15:00	16:45

- 7 参加者 近事研各单位研究会会員，  
その他学校事務職員，各教育委員会事務局職員および教育関係者
- 8 全体研修会 第1セッション 13:45～14:45 各单位研究会からの活動報告  
第2セッション 15:00～16:45 講演 寺谷 一紀 氏  
元NHKアナウンサー：追手門学院大学客員教授  
演題 「報道の中の教育と人権」



## 参加申し込みについて

- 参加費 会員 500円 会員外 1,000円
- 申込み方法 近事研加入研究会の方は各单位研究会の指示に従って申し込んで下さい。  
未加入の方や近畿以外の方についてはホームページに掲載してありますので、ご覧の上お申し込みください。  
弁当・宿泊の斡旋はいたしません。  
インターネットでも受け付けております。ホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。  
\*近事研ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~kinjiken/>
- 受付期間 平成18年6月19日(月)～7月20日(木)
- 申込先及び  
問い合わせ先 〒654-0152 神戸市須磨区東落合2-15-1  
神戸市立東落合中学校  
近事研事務局長 山下明美  
TEL 078-792-5558 FAX 078-792-5559  
e-mail akemi\_yamashita@sch.ed.city.kobe.jp

